

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組06	マルチ交通シェアリング・システムの拡充
②対応する目標・課題	・多様な移動ニーズに対応する公共交通システムの欠如という課題に対し、人と環境に優しく、自律都市を支えるITSスマートタウンを実現する。	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標：地域の自動車分担率	■目標値：36.5%（平成10年）⇒27%（平成40年）
	■評価指標：地域の自転車分担率	■目標値：17.2%（平成10年）⇒27%（平成40年）
	■評価指標：次世代交通システム利用者	■目標値：540名（平成23年）⇒1,000名（平成28年）
④取組内容 自転車、バイク、電気自動車など様々なモビリティが、街の至る所で貸出・返却できる共同利用システムを構築し、好きな時間に好きな場所に移動できる街を実現する。このシステムは、従来の公共交通と異なり、利用者が状況に応じて、時間、目的地、車両を選択できる高い利便性と、車両絶対数の減少、低炭素型車両を用いることでの移動によるCO2を削減できる高い環境性能の双方を有するものである。また、貸出・返却場所の増設、変更することで、都市構造の変化に対応できる、柔軟で拡張性の高い仕組みである。平成23年度に実証実験を開始し、実用化への課題を把握しており、それらを中心に改善を図る予定である。		
⑤エリア 柏の葉キャンパスを中心に、柏市中心部にもポートを設置し、中域交通にも対応。		
⑥主体 現在は、NPO法人柏の葉ITコンソーシアム(KACITEC)が主体 将来は利用料、広告料を収入基盤に、地域の運営組織による自律運営を予定		
⑦活用した国等の制度 22年総務省 地域ICT利活用広域連携事業 補助金 23年度内閣府 環境未来都市 補助金		
⑧地域の関与 柏市は、NPO法人柏の葉ITコンソーシアム(KACITEC)ならびに柏ITS推進協議会の会員として参画 柏市都市振興公社が事業主体である自転車シェアリング「柏スマートサイクル」と運営連携		
⑨スケジュール		
23年度	マルチ交通シェアリング・システム実証実験開始	
24年度	・システム改良：鍵管理の新システム開発、導入 ・ポート増設	
25年度	・地域カポイントの連携により、利用者層の拡大 ・システム改良：EV充電機の遠隔管理システムの開発、予約システムの開発 ・柏の葉キャンパス駅前街区に大型ポートの設置（稼働はH26）	
26年度	・柏ITS情報センター開設により、他の交通システムとの連動強化 ・ポート増設	
27年度	・ポート増設	
28年度		
29年度以降		
⑩他の取組との連携 取組名：柏ITS情報センターの設立 連携内容：本交通システムと既存の公共交通（電車、バス、タクシー等）の移動データを連携させ、全体交通体系のなかで最適なシステム構築を可能とする。 取組名：地域の方で街を育てる地域カポイント制度 連携内容：環境に優しい本交通システムへの移行促進のためにポイント・インセンティブ制度や、シェアリング車両のポート間の偏在を解消するための車両移動協力に対するボーナスポイントの発行等、一体的な推進により相乗効果を図る。 取組名：駅周辺5街区のエネルギー管理・節電ナビゲーションを行う『柏の葉・AEMSセンター』のインターフェイスシステム整備 連携内容：シェアリングのEV車両の充電量を、AEMSセンターで精度の高い遠隔管理を行うことで、防災時等において移動型蓄電設備として、シェアリング車両を街の安心インフラとして活用する。		
⑪自立・自律の方針・目標 従来の行政または巨大企業が提供する交通インフラでなく、地域の利用者の共同利用を基盤とした交通インフラとして、地域交通の自律モデルの一つとする。 また、本交通システムにより、地域内移動が活発化し、立場を超えた交流や新産業が生み出され、施設間の連携が密になるという好循環によって、地域の活性化・自立化を促進する。本交通システムは、地域の事情に合わせて、規模、車両等が設定できるシステムの柔軟性・拡張性、初期投資の少なさから、他地区への普及展開の可能性は高い。他地区で適用した場合、サーバー等はネットワークを通じて共同利用可能であり、双方の運営コストが縮減できることから、当地区以外での普及についても推進したい。		